

# 「EMC技術セミナー」のご紹介

安心・安全な電気・電子製品を開発し提供するためには、製品から放出される電磁ノイズの低減・規制対応や、日常で発生している雷、静電気、他の製品から放出の電磁ノイズを受けた際に誤動作・故障しないように対策するなど、EMC（電磁環境両立性）の技術が必要となります。

当センターでは、このEMC技術を広めるため、セミナーを開催しておりますので、その概要を紹介します。

## 平成27年度の開催状況及び予定

### 第1回

(6月22日開催)

### ■第一部 製品安全 基礎 —安全で信頼性のある製品を提供するために—

【講師】PSEジャパン株式会社 代表取締役 樫山 泰亮 氏

製品設計・開発の際は、その製品が使用者にとって安全で快適であることが第一に求められます。安全を確保するため、様々な法規制があり、ものづくりを行う上で、これらの規制は避けて通れないものとなっています。本セミナーでは、その規制の中から、「電気用品安全法」を中心に講演いただきました。

「電気用品安全法」の対象となる「電気用品」には、登録検査機関による適合証明書が必要な「特定電気用品」と、事業者の自己確認が必要な「特定電気用品以外の電気用品」があり、本セミナーではその違いや対象となる製品の具体例を紹介いただきました。また、同法における日本固有の規定と国際規格に整合された規定との違いなどに加えて、電気・電子製品に内在する危険性として「感電」を取り上げ、IEC規格における感電保護クラスの種別や絶縁の種類、その種の絶縁が求められる箇所などについて、説明をいただきました。



第1回セミナーの様子

### ■第二部 EMC規格と試験方法

【講師】一般社団法人KEC関西電子工業振興センター専門委員会推進部 井上 正弘 氏

本セミナーでは、はじめに、日常生活で使用している製品から放出されている電磁ノイズの様子を説明いただき、身の回りの製品が各種電磁ノイズを受けた際に誤動作・故障しないことの重要性などについて講演いただきました。

また、EMC規格について、国際規格などを定める組織について説明をいただいた後、国内外のEMC規制の状況について講演をいただきました。世界各国は、国際規格に基づいて法規制や自主規制を行っていますが、その運用には差があること、また、欧州では製品(群)規格が制定されており、欧州市場への製品投入には十分な調査が必要であることなどについても説明をいただきました。加えて、エミッション測定(製品自身が放出している電磁ノイズの測定試験)やイミュニティ試験(製品が電磁ノイズを受けた際の耐性を調べる試験)の種類や試験方法について、実際の試験写真などを交えて紹介いただくとともに、EMC規格の最新の動向についてもお話しいただきました。



### 第2回

(8月28日開催)

### 「電気回路の基礎」

【講師】独立行政法人国立高等専門学校機構奈良工業高等専門学校 教授 藤井 治久 氏

### 第3回

(日時未定)

「EMC対策技術」などの内容で12月以降に開催を予定しています。日時などの詳細は、追って、当センターホームページやメールマガジンなどでお知らせします。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気・電子担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp